

5.19安田純平さん講演会

# シリア人質 40カ月の 深層に迫る

ジャーナリストの安田純平さんは、2015年6月に取材のために入国した紛争下のシリアで武装集団に拘束され、2018年10月に解放されるまで、40カ月(3年4カ月)ものあいだ「人質」となっていました。

紛争地取材は「自己責任」だと非難する声が強いです。現地の人々の生の声や、深刻な現実を伝えるジャーナリストがいるからこそ、私たち市民は、平和や命の大切さを実感し、人権の実現を考え行動するための情報を得ることができるのです。

講演では、拘束されていた日々の状況、拘束の理由から解放に至るまでの背景などについて語っていただきます。また、なぜ戦場取材を続けているのか、安田さんが戦場下で見てきた人々の生活についても話していただきます。聞き手は、シリアなど中東取材を続けているジャーナリストの藤原亮司さんです。

講師 **安田純平** (ジャーナリスト)  
聞き手 **藤原亮司** (ジャパンプレス所属ジャーナリスト)  
日時 2019年 5月19日(日) 午後2時~4時 <受付1:30~>  
場所 **エル・おおさか 606号室** (大阪市中央区北浜東3-14)

参加費 500円 (ヒューライツ大阪の会員は無料)  
定員 100人 (要事前申込み)  
申込先 ヒューライツ大阪 [webmail@hurights.or.jp](mailto:webmail@hurights.or.jp)  
TEL 06-6543-7003 FAX 06-6543-7004

アクセスマップ



## 安田純平(やすだ・じゅんぺい)さんプロフィール

1974年、埼玉県入間市生まれ。一橋大学社会学部卒業後、信濃毎日新聞に入社。2003年に退社、フリージャーナリストとして中東や東南アジアなどを取材。2007年、民間人が支える戦争の実態を取材するためイラクで料理人として働き『ルポ 戦場出稼ぎ労働者』(集英社新書)を著す。2012年、シリア内戦を取材しTVや雑誌で発表。2015年6月、シリアで武装勢力に拘束され、2018年10月に解放された。近著に『シリア拘束 安田純平の40か月』(扶桑社)。メルマガ「安田純平の死んでも書きたい話」配信中。